



週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第297号

2016年12月12日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

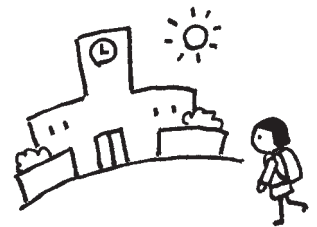
八千代市大和田新田
312-5

阿蘇・米本地域の小中4校を統廃合

阿蘇・米本地域の小中学校の統廃合について、市長と教育委員会は10月の総合教育会議で、阿蘇中学校の場所に阿蘇小・米本小・米本南小・阿蘇中の4校を統合し、施設一体型の小中一貫校にするという方針を確認しました。この方針は、阿蘇地域のひとたちが学校の存続を願い、市・教育委員会に繰り返し、説明会・話し合いを開くことを求めた要望を無視するだけでなく、統廃合を検討してきた「学校適正配置検討委員会」の答申をもねじ曲げたものです。伊原忠議員は12月議会でこの問題を市長と教育長に質しました。

阿蘇住民7割が反対、米本団地から小学校消える

4校統合方針は、地元住民を欺き要望を無視したものです。阿蘇地域住民は6月、該当世帯の約7割に相当する1,132筆の署名を添えて、教育委員会に阿蘇小学校の存続を求め交渉しました。その際教育長は、統廃合について「答えられるところまで検討が進んでいない」と答えました。しかし、実際には3月に4校統合案を教育委員会に提案していたのです。こうした態度は住民を欺くもので許されません。



さらに4校統合方針は米本団地で新たな問題を起こしています。これまで教育委員会は「3つの小学校を統合して1校にする」と説明してきました。住民の多くの方が「それなら残るのは広い米本南小」と思っていました。4校統合方針で米本団地から小学校がなくなるということが分かり驚いています。教育委員会の説明不足の責任は免れません。

4校統合・小中一貫校の方針撤回を

4校統合施設一体型小中一貫校の方針は、この問題を4年間議論してきた「学校適正配置検討委員会」の最終答申をねじ曲げています。昨年10月の最終答申は、小中一貫校について「将来は小中一貫校を見据えて期待する」と明記していますが、ただちに一貫校にすることを求めています。むしろ小中一貫校は課題が多いとして「国・県の動向や他市の取り組み状況を慎重に見極めながら、継続して検討・審議していくことが望ましいと」述べています。にもかかわらず教育長は「答申に沿っている」と強弁しています。

共産党市議団は、4校統合の市・教育委員会の方針の白紙撤回を求めます。地域住民を欺いて要望を踏みにじり、答申をねじ曲げたもので、地域で多くの矛盾が噴き出すことは明らかです。